

# まさよ通信

郡上市議会議員 田代 まさよ 2023年1月 No.10

## 議会は市民の思いが反映される場所

日頃から防災対策を強化 コミュニケーションを大切に  
笑顔が見える支え合い お互いに見守り支える仕組み  
健康を守り応援するまち 健診・検診を推進

やる気!  
で行動  
元気!  
は取り柄  
勇氣!  
を持って挑みます!!



新しい年が明けました。新型コロナウイルス感染者がまだまだ多く出ていますが、感染予防対策を行い前に進んでいきたいと思ひます。今年には明るい年になることを心から願ひます。そんな中、令和4年11月30日に郡上踊と寒水の掛踊(かのみずのかけおどり)の風流踊(ふりゅうおどり)がユネスコ無形文化遺産に登録が決定されました。

関係者の皆様・郡上市の皆様本当におめでとうございました。市を挙げての伝統文化として守り、後世に繋げていけるようにしていきたいと思ひます。

## 令和4年第6回定例会報告

11月30日～12月23日

人事案件、条例関係、令和4年度補正予算などの30議案を可決

請願1件 不採択 / 意見書1件 可決 / 専決処分の報告1件 / 議会報告など5件

## 12月補正予算 4億3,711万円増額 一部抜粋

### 送迎用バスへの安全装置設置等

公立・私立保育園、幼稚園、認定こども園、小中学校の送迎用バスとスクールバスへの置き去り防止装置設置、補助

### 出産・子育て応援交付金事業

令和4年4月以降に出産された方及び妊娠届を提出された方に、10万円相当の経済的支援

## 条例関係 ※詳しくは「郡上市公式Webサイト」をご確認下さい。

- 郡上市職員における定年の段階的引き上げ等



## 意見書1件 (可決)

- 森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書を国に提出

## 総務常任委員会より提言を提出

01 過疎対策事業債の活用について

02 ワークেশョンの推進について

03 公共交通について

04 ソサエティ5.0の郡上市づくりへの取り組みの加速化について



## 郡上市 プラスチックごみゼロ宣言

取り組み

1 プラごみの発生抑制及び適正処理

2

ろ 不法投棄の防止

3

は 環境教育の充実



# 12月定例会 私の質問と市の答弁

## 質問

2025年問題(団塊の世代の800万人が75歳以上となり日本は超高齢化社会を迎える。高齢者の増加と労働者の人口減少によりさまざまな問題がおきること)や2040年問題(2025年問題よりさらに高齢化が進み起きる問題)に備え**介護・疾病・認知症予防のため、介護施設や要介護高齢者にどのような口腔ケアをしているのか。口腔ケアの周知・啓発は。口腔ケアを市民全員に取り入れてはもらえないか。**

## 答弁

田口健康福祉部長

要支援・要介護高齢者が利用されている通所・施設サービスでは、**食前には嚥下体操や口腔体操などを行い、食後には歯磨きや義歯の手入れを行っている**。利用者の口腔機能を維持向上し誤嚥性肺炎の予防などを行っている。市民への働きかけとして、75歳以上の方を対象にさわやか口腔健診を実施。しかし、**令和3年度の受診者は125名で受診率は1.5%**である。40・50・60・70歳の方を対象とした歯周病検診も実施している。**令和3年度の受診者は95名で対象者における受診率は4.5%**となっている。ともにより多くの方に受診していただきたい。市としては、**啓発を強化**し口腔ケアの習慣化や検診受診に繋がりたい。

## 質問

長引くマスク生活で「**お口ポカン**」口唇閉鎖不全症という病気を見逃している。お口ポカンに関する意識調査では「口腔機能の発達」を意識している保護者は29.5%であったとある。学校や保護者に口腔機能の大切さや、**口育をどのように推進し、対策をされているのか。**

## 答弁

長尾教育次長

小学校に入学予定の園児を対象に就学時検診において、虫歯、歯並び、顎の状態をチェックしているが、**口唇閉鎖不全症であるのかを把握することは難しい**。コロナ禍において、保育園、幼稚園が休園となり全国的に虫歯や歯周病などの口腔異常が認められる子どもが増加傾向である。

日常的なセルフケアはもちろん、食習慣や栄養に関する**知識の普及、保護者を含めたプロフェッショナルの指導に加え、「お口ポカン」口唇閉鎖不全症のリスクなども伝えながら、口育を推進**していく。

【お口ポカンとは?】 いつもお口が空いている状態のこと



## 質問

今年度から始まった**子宮頸がんワクチンの接種とキャッチアップ接種の状況**は

## 答弁

田口健康福祉部長

令和3年11月「積極的な勧奨の差し控え」を終了する旨が出された。定期接種対象者である702人に個別通知を行い、従来の**定期接種の対象者年齢を超えて接種を行うために制度化されたキャッチアップ接種を公的負担で接種していただける**。接種を迷っている方々も安全性や効果について検証されたので接種を検討していただき、**子宮頸がん検診を受診し、子宮頸がんの発症や死亡のリスクを減少**させていただきたい。

## 質問

**乳がん検診の現状と婦人科がん検診の周知・啓発の取り組み**は

## 答弁

田口健康福祉部長

年齢を区切らず全市民を対象とした場合の受診率は、**40歳以上が対象の乳がん検診は、25.7%、20歳以上が対象の子宮頸がん検診は、17.7%**となっている。乳がん・子宮頸がん検診については、国の補助事業を利用し、**無料クーポン券の配布**を行っている。配布対象年齢は、乳がん検診が41歳、子宮頸がん検診が21歳である。

周知啓発活動において、近年企業との連携に力を入れている。初の試みとして、連携企業と合同で**啓発イベントを計画し、乳がん・子宮頸がん検診の受診促進を呼びかける**。市がこれまで培ってきた、**市民が互いに健診受診を呼びかけていただく文化を大切に、皆様とともに、周知・啓発活動を計画、実施**していく。